



笠木っ子だより

新潟市立笠木小学校

平成19年 2月14日

No. 10

耳を澄まして、声を聴いて



学校は、よりよい教育活動を進めるために、自己点検・評価をしています。独りよがりにならないよう、広く意見を求め聴くことを肝に銘じています。プラス面もマイナス面も公開し、いろいろな意見に耳を傾け、多方面から考え、実行していきます。保護者（家庭）・地域の皆様との送・受信の関係を大切にします。下記に、学校運営診断の結果をお知らせしました。また、肯定的評価が80%に達しなかった項目については、今後の取組方針を明示しました。裏面の「家庭学習の習慣化」と合わせて、ご意見をお寄せください。

〔教務主任 中野 敏之〕

12月実施 学校運営診断(保護者・学校評議員)の結果

4：よくあてはまる(十分) 3：ややあてはまる(やや十分)

2：あまりあてはまらない(やや不十分) 1：あてはまらない(不十分)

	診断項目	肯定的評価(4・3評価)
1	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育を推進しようとしています。	87.5%
2	学校は、教育方針や活動内容を「たより」や「懇談」、「学校ホームページ」等で分かりやすく伝えています。	89.3%
3	学校は、保護者・地域に信頼されるよう、特色ある学校づくりに努めています。	82.1%
4	学校は、保護者や地域の人などが来校しやすい雰囲気です。	80.4%
5	学校は、子どもたちの安全管理(交通事故・不審者・火災・地震等)のために十分指導や配慮を行っています。	87.5%
6	学校は、校舎内外の清掃等が行き届いており、学習環境が整備されています。	82.1%

教育活動

1	子どもたちは、私語なく落ち着いた態度で学習しています。(学習参観や学校行事などから)	<u>71.4%</u>
2	学校(担任及び教職員)は、子どもをよく理解し、一人一人を大切にした指導を心がけています。	80.0%
3	学校(担任及び教職員)は、保護者が子どもの様子について連絡・相談したことについて丁寧に対応してくれます。	86.8%
4	学校は、いじめや仲間はずれのない学校づくりに取り組んでいます。	67.3%
5	通知表(あゆみ)は、子どもの成果や努力のあとが保護者に分かるように工夫されています。	82.1%

肯定的評価が80%に達しなかった

教育活動1については、「聴き方」を学ばせ、『子どもが考える授業』をより一層推進します。教師の力量にかかっていますので、研修により指導技術を磨き合っていきます。

教育活動2については、今後も「心のアンケート」「心のけんこうしんだん」を定期的実施し、子どもの内面をつかむようにし、担任による教育相談活動と日常の見とりと子供の声に耳を傾けることを充実させます。また、毎週水曜日に来校する「心の教室相談員」と連携して対応します。さらに、構成的グループエンカウンターを全校・学級で計画的に実施し、人とのかかわり方を学ばせていきます。

教師による日常の授業での指導が大切と考えています。

家庭学習の習慣化を考えてみました

目指す子供の姿 <10分×学年>以上の時間をする。 △

- ・ 学校が家庭学習の習慣化を図るために、保護者学校運営診断肯定的評価
<10分×学年>の目標を設定して指導してきたことを知っていますか 89.3%
- ・ 家庭学習奨励の取組が充実していたと思いますか 60.7%

保護者アンケートより「家庭学習に取り組んでいる」	肯定的評価	76.5%	(目標80%以上)
児童アンケートより「家で毎日学習している」	〃	75.3%	
保護者アンケートより「<10分×学年>している」	肯定的評価	58.8%	
児童アンケートより「<10分×学年>以上の時間する」	〃	75.3%	(目標90%以上)
《学年別》			
1年	100%		
2年	100%		
3年	66.7%		
4年	71.4%		
5年	50.0%		
6年	61.5%		

【学級担任の見とり】

★ 3年から、<10分×学年>以上の家庭学習をすることが困難な子が増えてきています。

★ 宿題以外の自主学習の取組方を見ると、やる子とやらない子の二つに分かれてしまい、取組方に個人差が現れてきています。 お子さんはどちらでしょうか？

保護者の声（学級懇談会等）から

- ・ 学年が上がるほど、「宿題、終わった？」の声がけぐらいしかできない。
- ・ 「〇〇をやりなさい。」とまでは、親の方も分からなくて言えない。
- ・ 何をやってたかまでは、確認できない。
- ・ 自分が教わったやり方と違うので、見てあげられない。
- ・ 宿題をたくさん出してほしい。
- ・ 毎日、少しでよいのでプリントなどを持たせてほしい。



学校では、全学年とも宿題は必ずやり、学年段階に合わせて自分から進んで学習したり、自ら課題をもって主体的に学習しようとしたりする子どもの姿を目指しています。家庭学習の習慣化を目指し、次のような働きかけをしてきましたが、上記の結果を受け、より個別的に、充実させ今後も継続していきます。

- できる限り毎日、子どもたちの家庭学習の実施状況を確認し、子どものがんばっている姿を認め、その子に合った学習を助言します。
- 家庭学習カードを持たせ、学習の記録や定期的な振り返りに活用します。また、カードに保護者からの欄を設け、子供の学習状況を確認してもらいます。

《保護者の方へのお願い》

- 毎日、できる限り決まった時間に勉強ができるように、環境を整えてください。（夕食の時刻や起床・就寝時刻を決める、ゲーム等の時間を決める など）
- お子さんの学習態度や学習内容に関心を持ち、定期的に、よくできている所を見つけ、一言でも褒めてあげ、家庭学習カードに目をお通しください。
- お子さんに「信頼のメッセージ」と「褒め言葉」を送り続けてください。

よりよい学習の仕方を身に付けて、継続でき、さらに学力が向上するよう、学校と家庭と同一歩調で、子どもを支援していきましょう。

〔研究主任 田中 京美〕